

3 母語教育の実施状況について（2020年度）

	市町村名	理由
1	豊橋市	ABT豊橋ブラジル協会への委託事業。ブラジル人の小中学生を対象に母語であるポルトガル語の読み書きを指導する。また、母語の学習だけでなく、母国の文化、習慣、歴史、行事なども学び、子どもたちのアイデンティティの確立を図る。週1回90分×2コマ実施。令和2年度の登録者は11名。
2	豊川市	ラテンアメリカ部会教育プログラム（略称：PECLA（ペクラ）） 豊川市国際交流協会のラテンアメリカ部会が、毎月3回、南米の小中学生、高校生に、母語（ポルトガル語、スペイン語）や日本語の指導、教科学習支援を行っている。ラテンアメリカのダンスを教え、母国の文化の伝承と意識づけを図る教室も開講している。
3	刈谷市	刈谷市と協働で結成したベトナムコミュニティが、ベトナム人の子ども向けに、母語教室を開催。現在は、コロナ禍のため中止している。
4	豊田市	ポルトガル語、中国語の母語保持教室を（公財）豊田市国際交流協会への委託事業として実施している。
5	犬山市	ポルトガル語母語教室 開催数：教室10回、成果発表会1回 参加者数：15人 対象：小学1年生～中学3年生（市内在住・在勤の子）
6	小牧市	プレクラスの中で語学相談員が母語指導を行う場合がある。来年度、民間の日本語教室で母語指導（ポルトガル語）を行う予定ときいている。
7	大府市	母語指導員について、県からの母語相談員の派遣に加え、市単独でも派遣を行っている。日本語教育の支援が主な目的ではあるが、母語を使いコミュニケーションをとっている。
8	知多市	外国人生活支援事業の委託をしている、ちたビジョンプロジェクトがコミュニティスクール事業の中で、母語としてのポルトガル語を学習する取組を行っている。
9	岩倉市	「岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室」において、保護者からの申し込みにより指導を行う。ブラジルの教科書を使って指導し、母語であるポルトガル語を忘れないように配慮しながら、ブラジルの文化や地理・歴史などを教えている。
10	蟹江町	母語教育としての特別なカリキュラムを組んでいるわけではないが、プレスクール内で日本語を教えるにあたり、以下のような独自のテキストを使用することで、母語に触れる教育を実施している。 例えば「あ」の勉強の際、「あり（蟻）」や「あめ（雨）」等の「あ」がつくものを同時に教えている。その単語の下に母語ではどのように言うのかを記入する欄が設けられており、家に帰ってから両親に母語で記入してもらい取組を行っている。そうすることにより、日本語に加えて母語を同時に覚えることができると考えている。